

研究所だより

真・善・美・聖の 究明に 向かって

人文科学研究施設主任・文学部教授

三井善止

小原國芳と人文科学研究

玉川大学の創設者小原國芳は二八歳の時小学校教員を辞して、京都帝國大学の哲学科に入学しました。そこで彼は後に思想界をリードする人材を排出していた京都学派の初期の時代に、

西田幾多郎哲学、波多野精一（宗教哲学）、朝永三十郎（西洋哲学史）、深田康算（美学などの錚々たるメンバーの薫陶を受けたのですが、このことは彼のその後の教育活動を決定的なものとしたのです。

以後の小原の教育実践を支えた根本思想はこの時期に培われたものだったのです。それは恩師波多野精一を玉川大学に迎え、本物の学問をバ

ックボーンに据えた真の大学の建設を世に問う意気込みとして顕現しています。

設立と目的

人文科学研究

施設は、玉川大学における人文科学の総合的な共同研究の促進、発展を目指すものとして、平成一五年四月に設立されました。人文科学研究では、京都大学の人文科学研究所がとりわけ有名です。アジア文化研究、歴史文化比較研究、ヨーロッパ啓蒙思想研究、ルソー研究などの幅広い人文科学研究に多大な影響を与え続けてきていますが、総じて伝統と見識に裏打ちされた学問の府としての大学は人文科学研究を中心として展開されていることは言うまでもないところでしょう。

玉川大学の場合は、創立以来文学部がその任を担ってきましたが、近

学術研究所

- 全人教育研究施設
- ミツバチ科学研究施設
- 知能ロボット研究施設
- 量子情報科学研究施設
- 脳科学研究施設
- 応用生命科学研究施設
- 菌学応用研究施設
- 人文科学研究施設**
- 言語情報文化研究施設
- 心の教育実践センター

年の学部改組に伴う状況の変化のもとで、人文科学研究施設がその役割を担うものとして立ち上げられたのです。

特に、哲学思想、道徳、宗教、文学、芸術、歴史を中心とした幅広い人文系学問領域を包摂しうる研究施設を意図して、哲学思想研究部門、文学・芸術研究部門、歴史文化研究部門の三研究部門を置いていきます。

三研究部門

哲学思想研究部門では、現実世界における諸存在と諸事行の原理および構造に関して、また、人間世界とそこでの価値や意味に関する哲学的

研究所だより



教育哲学を講義する小原國芳。
図を描いて人間の文化 (Kultur) とその価値について説明



↑波多野精一像。
著書『時と永遠』は今も世界的名著として精神文化に多大な影響を与え続けている
←アテナイの学堂 (ラファエロ筆)。
古代・中世の偉大な哲学者たちを一堂にして描いている。中央にはプラトンとアリストテレスの師弟



な研究とともに、諸哲学思想および研究自体についての理論的検証を行なっています。たとえば、存在論の問題、認識論の問題、宗教の問題、道徳・倫理の問題などがあります。

文学・芸術研究部門では、欧米文学を中心にした文学研究とともに、文学における世界、文学における人間などに関する研究を行なっています。また、人間の創造活動、特に造形的手段による自己の世界観の意識的表現としての音楽、美術、演劇、芸能などといった芸術世界に関する理論的実証的な研究を展開しています。

歴史文化研究部門では、西洋文化および日本文化の生成、発展、成立あるいは没落といった過程としての文化史の原理および意味構造についての歴史学的研究、そして、歴史における文化自体の固有の存在意味および内容に関する研究を行なっています。

「他者」の研究

第一期の研究課題は「他者」についての研

究です。

哲学思想の領域では、他者についての哲学的、倫理的、宗教的研究を行ないます。文化多元主義、他者との共存、他者認識、神の他者性の問題などを従来の研究を踏まえて新しい視点を模索し、究明していきます。

文学・芸術の領域においては、具体的な形での「他者」ないしは「他なるもの」の存在、それに対比する「自己」の具現化の探求を通して、文学、芸術学における重要課題の一つである作品と人間、あるいは社会との有機的繋がりを考究していきます。

歴史文化の領域では、他者の問題を歴史・文化の視点から研究していきます。特に社会的アウトサイダーの問題を様々な角度で取り上げていきます。

なお、平成一八年度にはこの「他者」の研究の成果を上下二巻本として公表することになっています。